

「広報」



ちふ



2016
9
vol.205

- 2 一宮夏季大祭
- 3 知夫夏のイベント
- 4 ご結婚おめでとう・頑張れ知夫里っ子
- 5 UIターン者紹介・成人式
グリーンワーカー事業・畜産共進会
- 6 議会だより・島留学スタート
- 7 地域おこし協力隊員募集・戸籍コーナー
- 8 知夫の夏

小さな島 みなファミリー 知夫里島

白浪五人男

司会者の呼び出しに次々と登場する白浪五人男。「どこの子だ〜。」「どげしたて〜。」と知夫流の熱い声援が飛び交い、煌びやかな舞台を一層引き立てます。郷土芸能保存会による奉納歌舞伎の保存活動が認められ、知夫村子ども「皆一踊り・歌舞伎」保存会に優良少年団体表彰が授与されています。後世に伝える貴重な知夫の宝です。



先祓い



番谷日喜くん

7月30日(土)、2年に一度の一宮神社夏季大祭の奉納演芸が一宮境内地において行われました。当日は、午後6時からの神楽に始まり村民をはじめとする一般奉納演芸、出雲光一ショーと続き最後は、恒例の中学男子による白浪五人男と多彩な演出で賑わい芸を堪能しました。

一宮神社夏季大祭

二年に一度の夏の賑わい

浦安の舞



高田光さん、山本笑里さん、徳若未来さん

恵比寿舞



川本博樹さん

知夫の
永川をよし



小木俊一郎さん

隠岐民謡



道川英二さん、並河孝成さん

ダンス披露



チーム陽舞里のみなさん

隠岐民謡踊



島前高校 道川一史さんほか



出雲光一ショー



森宝史チームのみなさん

白浪五人男



左より小新隼くん、下廣凌雅くん、濱人くん、鈴木ルイくん(中央後ろ) 並河桂吾くん、佐々木葵くん



堂下勝也チームのみなさん



花火大会



花火大会実行委員長
水城 純さん

8月14日(日)の花火大会開催については、村内外からたくさんのご支援により、本年も花火大会を楽しんでいただき本当にありがとうございました。間近に見る花火大会に、皆様楽しんでいただけたかと思います。今後ともよろしくをお願いします。

お買いあげありがとうございました!



身近な爆発音に超感激!



夏のイベント

サザエのつかみ取り

素手で採るサザエに大喜び!



8月6日(土)、第29回サザエのつかみ取りが木佐根海岸において行われました。すっかり知夫のイベントとして定着したつかみ取り。今年もリピーターの参加の方を中心に行われました。昨年より、観光振興課で遊興型観光として取り組んでいるシーカヤック体験も行われました。親子でバランスを上手に取りながら開放感あふれた海のドライブを楽しんでいただきました。サザエを素手で採る醍醐味は知夫ならではのイベント。出郷者の皆様もお孫さんを連れて来年は参加されませんか。お待ちしております。



サザエ壺焼きとフランクフルトと大盤振る舞い!

カヤック体験



知夫里島観光協会 職員
伊藤辰也さん

シーカヤックの現在の取り組みとして、知夫村で行われるサザエのつかみ取りなどのイベントのオプションや子供たちの教育学習の一部としてシーカヤック体験を行っております。

今後の取組として、インストラクター養成が課題となっており、シーカヤック体験や講習を繰り返し行っている段階です。今後の方向性として、知夫村にある自然豊かな環境を活かし、シーカヤックツアーを軸としたアクティビティを今後の観光資源にしたいと考えております。

知夫里島盆踊り大会



8月14日(日)、知夫里島盆踊り大会を行い、大賑わいの夜となりました。

盆口説きと呼ばれる生歌と、太鼓に合わせた盆踊りは、昔から続く知夫の伝統文化です! 少子高齢化・人口減少を抱える今、「やっぱり知夫里がいいわい!」と思ってもらえるように、伝統文化を絶やすことなくいつまでも活気ある島である為に、世代や地区を問わず誰もが楽しめるよう企画しました。今後も、村民の皆様をはじめ、帰省や観光でお越しの方々と共に、踊りの輪を二重、三重と広げて行けるような活動にしていきたいと思ひます。

■会長：並河真裕子



知夫里島活性化協議会の皆様大変ご苦勞様でした!

Happy
Wedding

ご新婚おめでとう! 幸せいっぱいのカップル誕生!!



さ た け ま さ と ま い
佐竹真人さん ♥ 舞さん

私たちは7年前にこの知夫里島で出会い、今年の5月に入籍いたしました。2人とも知夫の出身ではありませんが、たくさんの知夫里島での縁を大切に、これからも仲良く笑いの絶えない家庭を築いていけたらと思います。皆さん、今後ともよろしくお願いいたします。



ふ く や ま ゆ う し ゆ き
福山雄士さん ♥ 友希さん

前の職場で出会いました。雄士さんは、釣りが好きで、友希さんはコンサートに行くことが趣味です。初めての育児で、家庭円満に過ごすことを大切にしています。本土からのチャーター船も行っていきます。よろしくお祈りします。



く ち む ら し ゚ う た あ き こ
口村将太さん ♥ 晃子さん

私たちは、7月2日に結婚式を挙げ新生活の第一歩を踏み出しました。まだまだ暑い日が続きますが、この暑さにも負けないうアツアツで明るく楽しい家庭を築いていこうと思っています。皆さんこれからもよろしくお願いいたします。



縁を結ぶハッピーコーディネーターをご存知ですか。

島根県では、少子高齢化対策推進に向けた取り組みの一環として、しまね縁結びサポートセンターによる「はッピーコーディネーター制度」を設け、結婚を望む独身男女の相談に応じています。知夫村では4名の方が相談員となっています。6月25日には海士町と合同の「隠岐国はぴご会」を設立し、島前地区の独身男女縁結びを進めています。隠岐の国はぴご会は、パートナーと一緒に歩む人生の素晴らしさや家族を持つ喜びを伝えていくことを目指しています。希望の方はご相談に応じますので、是非お申し込みください。



隠岐の国はぴご会
副会長 小新和美さん

がんばれ!知夫星っ子!! 各競技で好成績を収めました!



島根県高校総体 ソフトテニス

島前高校3年 並河 湧斗

6月2～4日に行われた島根県高校総体において、島前高校は団体戦ベスト3位、3年生の友田陸央君と2年生の濱拓人君はベスト16（中国大会出場権獲得）という結果を勝ち取ることができました。チームとしては良い結果が出たと思いますので嬉しい限りです。

しかし、島前高校男子ソフトテニス部がここまでの成績を上げるのは、決して簡単な道のりではありませんでした。僕達が入学した当時のソフトテニス部は、個人



表彰状中央左：並河湧斗くん、右：友田陸央くん
後列2列目右：濱拓人くん

戦は良くて県ベスト32、団体戦ではベスト16というチームでした。しかし、顧問の先生方と外部指導の方と苦しみながらここまで過ごしてきました。指導者の皆さんには、一つ一つ丁寧にテニスを教えていただいたことはもちろん、テニスを通じて人として必要なことも教えていただきました。

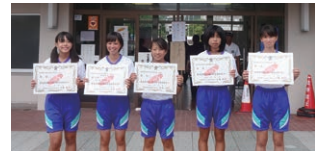
僕達は、地域の方々にもたくさんの支援を受けました。全国1位の尽誠学園との合宿、これは僕達にとってとても刺激になった合宿でした。島前の観光関係、飲食関係、役場、教育委員会の皆さんに多くの支援をいただいて、僕達はレベルの高いテニスを経験することができました。このような貴重な経験ができるのは、多くの地域の皆様の支援があったからだと思います。

僕達は、恵まれていると思います。このように最高に恵まれた環境でテニスができることは本当に幸せなことだと思います。僕達、島前高校男子ソフトテニス部員は、これからもこの環境に日々感謝しながらテニスをしていきます。中国大会では、島前高校は団体でベスト16でした。濱拓人君は2年生ながら3年の友田陸央君とペアで中国大会ベスト32となり、来年に向けての活躍が期待されています。



島根県中学校総体 400mリレー

7月24日(日)、益田陸上競技場において、第50回島根県中学校総体体育大会陸上競技大会が行われました。低学年女子4×100mリレーに代表生徒が参加しました。57秒46という自己ベストのタイムで3位という成績を収め、練習の成果を發揮するとともに、充実感あふれる大会となりました。



左より能海瑠生さん、徳若未来さん、山本笑里さん、上仲七海日さん、谷彩風さん



第32回全国小学校陸所競技交流大会 島根県予選100m

6月26日(日)、松江市営陸上競技場において、第32回全国小学生陸上競技交流大会（島根県予選会）が開催されました。6年男子100mに出場した古谷有己くんが、予選を13秒27で通過し、決勝は13秒19で5位という結果でした。自分の力を大きな舞台で試すというかけがえのない経験となりました。



6年 古谷有己くん

成人式 おめでとう!

大人の
抱負

Message

01

かわもといぶ き
川本息生さん



大学で勉強したことを活かし、知夫で新たな仕事を見つけ帰ってくる人達の場所だけではなく、人を創って行きたいと思います。また、自分自身が帰ってくる場所として、人を受け入れるように成長して戻ってきたいと思います。

Message

02

しばたまな
柴田菜奈さん



私は、7年間知夫里で育ちました。お母さんや周りの方々に支えられてここまで大きくなったと思います。本当に感謝しています。来年からは、就職も控えているので色々な困難にも向きあって乗り越えられる人になれるよう頑張ります。そして、自分の意見をしっかり持ち言えるような女性になります。盆や正月には、また大好きな知夫里に帰ってきます。

Message

03

たがみらん
田上 藍さん



私は、知夫で生まれ育って本当に良かったと感謝しています。そう思えたのも、自然が多くある環境で育ち、両親や友人、地域の方々の支えがあったからです。これからも、周りの人達に感謝し謙虚な気持ちを忘れず、日々頑張りたいと思います。

Message

04

こしんよし き
小新好輝さん



私は、高校卒業して就職して3年目になります。仕事では、毎日のように苦労や困難に当たります。しかし、そんな時こそ知夫のことを思い出して頑張っています。成人したので、今後はより一層苦労や困難に立ち向かい、乗り越えられる強い大人になりたいと思います。

やだゆりこ
矢田百合子さん

7月から実家のある知夫里に帰ってきました。ホテル知夫の里に働かせていただいています。帰り道、いつも狸と出会い人より狸が多いことを再確認しました。少しずつ変わってはいますが、こののどかな知夫の風景が大好きです。いつまでも残していけたらと思います。慣れないこともありご迷惑をおかけすることもあるかも知れませんが、よろしくお願いします。



なかほまいせきち
仲濱伊勢吉さん

4月に相模原市から単身で帰ってきました。多沢地区の板屋が実家です。薄毛に行く旧道の一番奥の家に住んでいます。昭和22年団塊の世代生まれで、知夫の他地区に同級生がいて心強い限りです。帰った当初は家の掃除、周りの除草や、昔、畑だった荒地の土をおこして大変でしたが、どうにか作物を植えられるような畑も出来たのでこれから勉強して野菜づくりにチャレンジしていきます。



ふるさとへの想い

故郷の山にむかいていうことなし、
故郷の山はありがたきかな。

石川啄木

もりけいじ
森 圭史さん

5月より、晴れて村民になりました。森圭史です。知夫には父の転勤の関係で、幼少期から4年間住んでいました。転校をしてからも知夫が大好きで、1~2カ月に1回遊びに来ており、港に着くと「お前、また来たか。お前何しに来た。」と知夫流の歓迎をしてもらっていました。少し前から、また知夫に時々遊びに来るようになり、Uターンで来た人達と沢山かわる中で、自分も知夫に住みたいと強く思い、思い切って飛び込んできました。今は、島の方々にとっても優しくしていただき、自然にも囲まれてとても幸せで健康的な日々を過ごさせていただいています。皆様今後ともよろしくお願いします。現在、お嫁さんを絶賛募集しています。紹介していただければ幸いです。



畜産研修会

環境省グリーンワーカー事業 知夫村の牧野景観を守る

知夫村和牛改良組合長 西村 節夫

6月4日(土)、役場2階において、和牛技術コンサルタントの小野健一先生を迎え「全国の種雄牛情勢と隠岐和牛の改良について」の講演会を開催しました。



40名程の参加者のうち西ノ島町、海士町、隠岐の島町からも十数名の農家の方々が参加されて約2時間の講演でした。

小野健一先生は、年間20回以上全国各地で講演会活動を行っておられ、黒毛種雄牛交配の専門家です。日本名牛百選の著者であり現在も肉牛ジャーナル等の月刊誌にも連載されています。

内容は、これからの隠岐和牛改良の方向性として島根県種雄牛また県外種雄牛の使い方、放牧牛としての系統的な違いなど中身の濃い講演でした。今後の和牛改良に少しでも参考になればと思います。

これからも、知夫村和牛改良組合員皆で全国的にも類を見ない知夫村の放牧体制を守り引き継いでいき、またいつの日か小野健一先生に知夫に来ていただき今回の講演の成果を見ただけでなく、ぜひとも努力していきたいと思っています。



島内外からも多数の参加がありました

隠岐郡畜産共進会品評会

平成28年6月10日(金)、隠岐県農業協同組合協議会の主催で西ノ島町浦郷家畜市場において盛大に開催されました。当日は、隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村4町村6地区から総数25頭が出品され、グランドチャンピオンを競いました。

知夫村からは、子牛の部(5ヶ月齢~12ヶ月齢未満)には、堂下勝也さんの「[のみや号]」と西村節夫さんの「[さきひさ号]」が、若雌の部(12ヶ月齢~22ヶ月齢未満)では西村宏治さんの「[ひさえ号]」と井尻義教さんの「[ふくよし号]」が出品されました。残念ながらグランドチャンピオンは逃しましたが、審査競技部門では、知夫村が1位川本悟さん、2位塚田由希さん、3位沖原汎信さんと独占することが出来ました。「隠岐郡畜産共進会品評会」は、優良なメス牛を生産し、隠岐地区の畜産業の繁殖に貢献する事と、畜産農家の生産に対する意欲を高め、より高品質の牛を生産することを目指しています。今後の取組としては、型だけではなく中身も伴い、繁殖率もよい、肉用牛としての能力の高い素牛作りを目指しています。



左より沖原汎信、川本悟さん、塚田由希さん

議会だより

6月定例議会概要

一般質問



【並河孝成議員】

仁夫タブの木や公衆トイレの場所、目的先までの距離、来居港までの帰りの表示が解りにくく、外国人に対して英語、中国語の表示が少なくないと考えられる。また、知夫里島灯台は島の東側の観光拠点として、灯台周辺とタブの木周辺整備について考えを伺います。

村長

観光案内版については、観光振興課が作成している全島公園化計画に基づいた標識等整備計画に則り、環境省をはじめ各関係機関との補助、村予算によりほとんどの計画に基づいた標識は実施していますが、公衆トイレ等の場所案内等をはじめ未実施の箇所も合わせて追加実施していきます。中国語・韓国語等標記については、これまで実績もないことから今後も日本語と英語による併記で整備を進めて行く予定です。

次に、タブの木周辺の整備については、村の文化財保護審議会が村の天然記念物に指定したものであり周辺を整備し、容易に木の周囲を歩いて回れるように区及び審議会との話し合いを持ち、教育委員会に調整するように伝えてあります。

灯台周辺整備については、島津

島遊歩道整備と併せてすでに工事の発注済みと伺っています。広場周辺を柵で整備するとともに、旧居住部分であった敷地内全面を真砂土舗装し、ベンチ3基を設置します。

主な案件決議

- 知夫村放課後児童健全育成整備基準条例の改正
放課後児童支援員の資格について、義務教育学校の教諭となる資格を有する者が追加された。
- 知夫村家庭的保育事業等の整備運営条例の一部改正
保育の需要に応じる保育士の数の算定については、保健師、看護師の他に准看護師を一人に限り、保育士とみなす改正。

皆様の声をお聞かせください



渡部哲朗副議長

向濱樽幸議長

地方分権化時代にふさわしい議会のあり方として、従来の執行部による予算執行への監査、調査型から議会自らの条例案件策定をはじめとする諸施策の企画、立案をし、住民参加のもと、地域活性化に向けて実現化する議員活動が求められています。村内に7名の議員がいますので忌憚のない建設的なご意見をお聞かせください。村政に活かします。

議員、議会の活動日誌

5月

- 全員協議会
- 月例監査
- 広域連合議会運営委員会
- 町村議長会
- 全国町村議長会

- 縁結びサポートセンター打合
- 島前交通安全協会役員会
- 島前高校（高校総体）
- 隠岐広域連合会定例会
- 知夫村教育魅力化プロジェクト

6月

- 隠岐國はびこ会設立事前準備協議会

- 島前交通安全協会総会
- 定例議会
- 月例監査
- 島前高校参観日
- 島前防犯連合会議
- 地区座談会
- 隠岐國はびこ会立ち上げ式
- 知夫村教育魅力化プロジェクト

7月

- 縁結びサポートセンター打合
- 月例監査
- 人権・同和教育講演会
- まちづくり講演会
- 招福苑傾聴ボランティア
- 知夫村教育魅力化プロジェクト

知夫村島留学スタート

人口増により村を守る

少子高齢化に伴う人口減少により、知夫村も年々小中学校の児童生徒数が減少しています。小学校児童数は、昭和34年の359名、中学校生徒数は昭和37年の187人をピークに、現在では、小中あわせて36名（平成28年度8月1日）となっています。現段階では、平成34年には小中児童生徒数が22名まで減少することが予想されています。

このまま児童生徒数が減少し、学校がなくなつた場合、子育て世代の島外流出↓人口減少↓後継者不足・高齢化の加速↓産業の担い手不足↓産業衰退という負の連鎖が起き、ひいては、廃村に



至る可能性もあります。



大江集会所において第1回島留学説明会

こうした中、知夫村では、昨年度策定された「知夫村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、村をあげて教育を魅力化し、島外から子どもを募集する「島留学」を実施します。現在、教育委員会が主となり、児童生徒の募集方法や受け入れ方法（寮方式・家庭方式）を検討し、今年度より児童・生徒の募集を行っています。自治体主導での小中学生の島留学は、島根県内では初めての事例であり、より良い留学制度が出来るように議論を重ねています。

7月20日に「大江元気です会」に併せて、大江集会所で島留学の説明会を行いました。今後、順次各地区に向いて、説明会を行う予定です。一人でなくても多くの方々に参加していただけたらと思っています。

新規職員紹介

平成28年6月1日付で長田亜美さん、7月1日付で尾原守さんの2名が役場の教育委員会の新しい職員として入庁しました。よろしくお願ひします。



長田亜美さん

大阪から来ました長田亜美です。冬に知夫に遊びに来て以来、知夫里島が大好きになったことがきっかけで、6月1日から教育委員会で、教育支援員として働いています。皆さんと同じく、知夫の子どもを支え応援する一員として、出来る事から少しずつ始めていきたいと思っ



尾原 守さん

県内、出雲市から来ました。7月1日から教育委員会勤務しています。社会人としても知夫の住民としても新人ですが、ご指導ご教示のほど、よろしくお願ひします。

趣味は読書、散歩と、野鳥を眺めることです。神社やお寺などでのんびりぼんやり上を向いて歩いていることが良くあるので、もし見かけたら声をかけてやってください。

知夫里島地域おこし協力隊 隊員を募集します!!

(子ども・子育て支援員)

知夫村では、次世代を担う子供の健全育成のための「放課後子どもプラン」の実施にむけ、支援体制の充実を図るため子育て支援に携わっていただける方を募集します。

募集人数／若干名 募集条件

- 20歳以上（平成29年4月1日現在）。性別不問。
- 現在、三大都市圏をはじめとする都市地域（過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村）に在住の方で採用後、知夫村に住民票を異動し移住してくださる方。家族での居住も可能。
- 保育士、栄養士または、幼稚園教諭免許を有する方。
- 普通自動車運転免許を有する方。

業務活動／保育所業務支援、放課後子どもプラン等の子育て支援企画・運営、その他子育て支援に資する活動

任期／委嘱の日から1年間（1年単位で最長3年まで更新可能）

賃金等／月額170,000円各種保険（厚生年金、健康保険、雇用保険）

住居／原則として村内の空き家及び村営住宅へ居住（住居の所有者への家賃月額21,000円程度は本人負担）

申込み受付／平成28年7月15日から定員に達するまで。

応募・問い合わせ先
知夫村役場村民福祉課

(担当 渡辺智彦、佐々木歩美)
〒684-0102

島根県隠岐郡知夫村1065番地
電話 085148-2211

FAX 085148-2093

Eメール lw.712@chibu.jp

※この内容は、知夫村ホームページのトップページにも掲載しています。
知夫村HPアドレス <http://chibu-vill.com/>

保健師さんを募集しています

募集人員／若干名

職務内容／知夫村役場において保健師業務に従事します。

受験資格

ア 昭和51年4月2日以後に出生の者（40歳以下の方）

イ 保健師免許を取得又は、平成29年3月末までに取得見込みの者

ウ 普通自動車運転免許取得又は、平成29年3月末までに取得見込みの者

受付期間／平成28年8月29日（月）～平成29年2月28日（火）

毎月第2金曜日（休日の場合は翌平日）を受験申込締切日とします。（毎月の受験申込締切日後に採用試験を行います。）

受付時間／平日の午前8時30分～午後5時15分まで郵送による場合は、各締切日必着とします。採用予定人員に達した場合は、採用試験を終了いたします。

試験期日／受験申込締切日の属する月内

(別途通知)

内容

● 適性検査・村独自の適性検査を行います。

● 人物試験・主として人格、性格をみる目的で個別面接を行います。

会場／知夫村役場

受験手続／申込用紙の交付

ア 申込用紙は知夫村役場総務課で交付します。

イ 申込用紙を郵便で請求する場合は、封筒の表に「試験請求」と朱書きし、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（角2型以上）を必ず同封して知夫村役場まで請求してください。

問い合わせ先
知夫村役場総務課(担当 徳田)

〒684-0102

島根県隠岐郡知夫村1065番地
電話 085148-2211

FAX 085148-2093

Eメール tokuda-hisashi@chibu.jp

HP <http://chibu-vill.com/>



ひまわり俳句会の 信条を心として

増田節子さん（89歳）
(雅号 桂女)



四季の移る

四 季の移る間俳句にしたため、この度、ひまわり俳句会にて『準ひまわり賞』を受賞されました。1700名の会員のいる中で、50名しかいない幹部同人にも選ばれ、年間を通じて俳句活動に励んでおられます。「俳句は一人ですべてででき、毎日を心豊かに感動の日々を過ごさせてください」とのこと。今なお青春を感じさせる節子さんでした。

※青春とは、人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言う。(サミエル・ウルマン)

知夫中学校第16期(昭和38年度)卒業生 同窓会

5 月28日、ホテル知夫の里にて、来年「古希」を迎える団塊の世代34名が集い、同窓会を行いました。



酒を酌み交わしての談笑、カラオケ、宝引き、認知度判定を兼ねた検定試験等、5時間にも及んだ宴会は、年相応の風貌になった皆が「おれ、おまえ」と童心に返り、幼き日々への郷愁に浸り大いに盛り上がったものとなりました。

懐かしい故郷の景色、温かい在郷者の方々のおもてなしに、改めて故郷の良さを満喫しました。
(鹿島重信さん)

戸籍コーナー

(太字は村内在住者・敬称略)
平成28年4月
平成28年7月31日

結婚

おめでとうございます

- 佐竹 真人 仁夫
- 宮島 舞 仁夫
- 口村 将太 来居
- 矢野 晃子 来居

おすこやかに

お誕生おめでとうございます

- 長久 莉沙 来居
- 福山 凌士 来居
- 板持 亜弥音 大江
- 安藤 智康(80) 薄毛

やすらかに

心からおくやみ申し上げます

金一封

いただきました。ありがとうございます。



- 知夫中学校 第25期生一同(還暦)
- 前川 茂(松江市)
- 白井新子(愛知県豊橋市)
- 敷 澄子(知夫村)
- 大空栄一(埼玉県北本市)

知夫の夏

一宮神社夏季大祭、花火大会、盆踊り、海水浴、釣りと、今年もふるさとのお盆を楽しまれたことと思います。来年もふるさとでのお盆を楽しんでいただけるようお待ちしております。



編集後記

わたしが両手をひるげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥はわたしのよう、地面を速くは走れない。わたしが体をゆすつても、きれいな音は出ないけど、あの鳴る鈴はわたしのよう、沢山な歌は知らないよ。鈴と、小鳥と、それからわたし、みんな違って、みんないい。金子みすず

「わたしと小鳥と鈴と」より

知夫村は、古来より牧畑をはじめとして、協働の精神で小さな村を守ってきました。限られた土地を共同して活用する地域は、世界でもスイス等、限られた地域と言われています。世界に誇れる精神文化を継承している知夫村。皆様のお便りをお待ちしています。(山本)

E-mail: shou-kan@chibu.jp